

第16号  
定価 1500yen

MAY. 5月号  
2008 no.016

# Chronos

With Mechanical Majesty  
クロノス日本版

www.webchronos.net

## ディテールで見極める 良質な時計選びのABC

「ハイ・クオリティの先」を目指す  
強かな技術者集団

拡充を続けるH.モーザーの  
開発拠点で見たもの

クチュリエにとっての  
「機械式」とは？

新作時計のトピックを凝縮  
新鋭 - Watch the New -

リシャール・ミルと  
独立時計師たちが紡ぐ  
「星の物語」

### TEST

GIRARD-PERREGAUX  
GIRARD-PERREGAUX 1966

IWC  
PILOT'S WATCH DOUBLE  
CHRONOGRAPH TOP GUN

VULCAIN  
VULCANOGRAPH



## 誕生日を日本で迎えたスピーク・マリ 新作発表と同時にムーブメント開発宣言

2008年2月6日、自身の40回目の誕生日を日本で迎えたピーター・スピーク・マリ。同時に、その記念すべき日は、新作発表とムーブメント開発宣言の場となった。

Photographs by Eiichi Okuyama  
Text by Yukiya Suzuki(Chronos Japan)



例年、バーゼルワールドに出展していたスピーク・マリだが、今年は参加を見送るといふ。それに代えて、ひと足早く新作を携えて来日した彼が、その発表の日を選んだのは、自身の40回目の誕生日であった。記念すべき日に記念すべき新作をこの日本で発表してくれたことに望外の喜びを禁じえない。

スピーク・マリの今年のテーマは「シー・アンド・ストーン」すなわち「海と石」。彼は言う。「海と石をテーマに選んだのは、それがいずれも「永遠」を感じさせるモチーフだからです。それは、時計は永く受け継がれるべきものという私の哲学にも通じます」。具体的には、海を象徴するものとしてマザー・オブ・パール、石を象徴するものとしてオニキスやダイヤモンドを採用している。時間の経過とともにやがて色褪せてしまう塗装文字盤に比べ、これらの素材を用いた文字盤の輝きは永続する。これこそ、スピーク・マリが求めるものに他ならない。

さらに、驚くべき情報がスピーク・マリ

ピーター・スピーク・マリ。1968年2月6日生まれ。現在、スイス・ローザンヌ近くのロールに工房を構え、6人のスタッフを抱える。自身で設計した開発中の新型ムーブメント搭載モデルで、2009年には年産300本を目指す。

ンから告げられた。現在、彼自身が設計したムーブメントを開発中だというのだ。直径32.2mm、厚さ6mmの大型サイズの両方向巻き上げ式で、テンワの直径も11mmという大きさだ。ムーブメントの1/3を香箱、1/3を輪列、そして残りの1/3を調達・脱進機に充てるという、かつて懐中時計に見られたレイアウトをコンセプトに設計され、地板にはジャーマンシルバー（洋銀）を採用するというから、古典的なムーブメントかと思いきや、デザイン画を見るとその予想は簡単に覆された。まず目を引くのがダイヤモンド形輪列の輪受け。しかも、ガンギ受けを別体化し、脱進機のメンテナンス性を高めている。特筆すべきは、ビートエラーと歩度調整用にふたつの緩急針を備え、さらに毎秒6振動のテンワにはマスロットが付いており、調整のしやすさと精度の向上を両立している点だ。

古典的な着想に現代的な合理性とデザインを与え、それらを時計師としての視点から構築したスピーク・マリの新型ムーブメント。来年3月に発表予定の新作とともにその全貌が明らかになるといふからうご期待。



ロアリング・タイガー

スピーク・マリと加賀蒔絵師・山崎夢舟とのコラボレーションモデル第3弾。天に向かって咆哮する猛虎をモチーフにしたユニークピース。18KPG(直径38mm、厚さ13.5mm)。自動巻き、2万8800振動/時、829万5000円。



アンモナイト・フォッシル

アンモナイトの化石をマザー・オブ・パール文字盤に配した「シー・アンド・ストーン」コレクションのユニークピース。リュウズはピンクゴールド、SS(直径38mm、厚さ13.5mm)。自動巻き、2万8800振動/時、173万2500円。



ナイトスカイ

オニキス文字盤にワンポイントダイヤが映える。裏面にはフラワーエッチングが施される。SS+ブラックPVD。直径42mm、厚さ13.6mm。6本限定。自動巻き、2万8800振動/時、173万2500円。(問)東邦時計社03-5807-8167